

瓦版:2年生



老年実習・成人実習を通して

老年実習では、施設を訪問し、病院で見る「入院患者としての高齢者」とは異なる、生活の場で暮らす高齢者の姿に触れました。長い人生を歩んできたからこそ生まれる思いや価値観があり、その人らしい生活がある。こうした一人ひとり違う人生への思いに寄り添うことの大切さを学びました。またその中から、できないことに目を向けるのではなく、高齢者が持っている力や強みを見つけ、信じて支えることも看護の重要な役割であると学ぶことができました。

成人実習では障害のある方とかかわり、「障害があるとできない」というイメージが変化しました。環境や条件を整えることで、その人本来の力が発揮される場面を多く目になりました。障害の有無にとらわれるのではなく、一人の人として向き合う姿勢が大切であり、それは人として当然の関わり方なのだと学びました。また、私たち自身の中にある思い込みに気づき、それを見直し続けることも、看護に求められる姿勢だと感じました。



レクリエーション(ドッジボール)

レクリエーションでは2年生・1年生・3年生、さらに教員も参加し、学年・教員混合のチームでドッジボールを行いました！和やかな雰囲気というよりも、試合が始まると本気で勝ちにいく場面が多く見られ、白熱した展開に！途中からボールが1つから2つに増えると、試合の流れは一気に加速し、会場はさらに盛り上がりいました！

後半には学年対抗戦も行われ、2年生が勝利！実習や課題、テストで忙しい中ではありましたが、身体を動かすことで良い気分転換となり、学年間の交流も深まったと感じました！また、学生・教員それぞれの普段とは違う一面を見ることができ、クラス全体の一体感が高まりました！来月から始まる実習に向けて、気持ちを新たにする機会となった最高のレクリエーションとなりました！

